

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 12 月 10 日 (2024.12.10)

【国際公開番号】 WO2022/230938
【出願番号】 特願 2023-517597 (P2023-517597)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/35(2018.01)
C 0 9 J 7/22(2018.01)
C 0 9 J 123/00(2006.01)
C 0 9 J 151/06(2006.01)

10

【F I】

C 0 9 J 7/35
C 0 9 J 7/22
C 0 9 J 123/00
C 0 9 J 151/06

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 12 月 2 日 (2024.12.2)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリフェニレンエーテル (a 1) 40～99.9 質量%、ポリスチレン (a 2) 0～59.9 質量%、及びアミノ基含有ポリマー (a 3) を含む基材層 (A) と、
酸変性ポリオレフィンを含む接着剤層 (B) と、
を含む多層シート。

30

【請求項 2】

基材層 (A) におけるアミノ基含有ポリマー (a 3) の含有量が 2～40 質量%である、請求項 1 に記載の多層シート。

【請求項 3】

基材層 (A) の軟化点が 175℃以上である、請求項 1 に記載の多層シート。

【請求項 4】

基材層 (A) の 160℃における貯蔵弾性率が 500MPa 以上である、請求項 1 に記載の多層シート。

【請求項 5】

基材層 (A) のアミノ基含有ポリマー (a 3) が末端にアミノ基を有するポリスチレン鎖を含む、請求項 1 に記載の多層シート。

40

【請求項 6】

基材層 (A) のアミノ基含有ポリマー (a 3) がスチレン-ジエンスチレンブロック共重合体である、請求項 5 に記載の多層シート。

【請求項 7】

酸変性ポリオレフィンが無水マレイン酸変性ポリオレフィンである、請求項 1 に記載の多層シート。

【請求項 8】

基材層 (A) が 50～300μm の厚みを有し、接着剤層 (B) が 10～100μm の厚みを有する、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の多層シート。

50

【請求項 9】

ポリフェニレンエーテル（a 1）40～99.9質量%、ポリスチレン（a 2）0～59.9質量%、及びアミノ基含有ポリマー（a 3）を含む基材層（A）と、酸変性ポリオレフィンを含む接着剤層（B）と、を160℃以上の熔融状態で接触させる工程を含む、多層シートの製造方法。

10

20

30

40

50